

危機感から立ち上がった6人の有志

～農業生産法人・幟ほっと奈曾設立～



今後の発展を全員で祈願し記念撮影

12月13日、幟ほっと奈曾（福川耕一代表取締役）の設立記念式典が開催されました。関係者など約30名が出席し、市内で初めて集落営農組織から法人化した同社の発展を祈願しました。法人化の先輩、柳折林ファーム（由利本荘市）との協力協定も調印されました。

高齢化などで農地を手放す農家が現れてきたことから、危機感を強く持った6人の有志が進めたもので、農地集積による効率化を図り、後継者不足の受け皿として、さらに農家民宿や除雪請け負いなど、小滝集落の活性化と、集落内にとどまらない事業展開が期待されます。

あったかハタハタ汁に舌鼓

～ハタハタ祭り～



多くの方々がハタハタ汁を堪能

12月13日、市温泉保養センター「はまなす」駐車場で、ハタハタ祭りが行われました。

寒空の下、あったかいハタハタ汁を食べようと市内外から多くの方々が訪れ、用意された湯気の立ち上るハタハタ汁を堪能していました。

ことしのハタハタは、3歳魚を中心としているため、魚体の大きなものが多いといわれています。

ハタハタ汁を楽しみにしていたという方からは「あったかく、とてもおいしい」などの好評の声が聞かれ、祭りも大いに賑わいをみせていました。

エコな目玉事業

～マイクロコージェネレーション導入事業・象潟B&G海洋センター～

12月から象潟B&G海洋センターでは、天然ガスを活用した発電装置が稼働しています。

この装置は、費用の一部を新エネルギー導入促進協議会が助成して設置され、CO2削減、地球温暖化防止対策の一環として、自噴する天然ガスを電気と熱に変えるものです。これにより同センターで使用する電力の大半を賄うことができ、節減できる経費は1年間で灯油代約400万円、電気代約200万円を見込んでいます。

今年度、地球温暖化防止都市宣言をした本市の、エコな目玉事業です。



センターに設置された2台の発電装置

会場に溢れた一体感

～宮沢和史弾き語りによるコンサート寄り道2009～



観客を引き込む宮沢さんの演奏

11月28日、『島唄』『風になりたい』等多くのヒット曲で知られる宮沢和史さんの弾き語りコンサート・寄り道2009が、仁賀保勤労青少年ホームで行われました。会場には、早朝から駆けつけたファンを含め、約350人の観客が詰めかけました。

穏やかに訴えかけるような詩の朗読と、手拍子とともに観客と一緒に歌う『島唄』など、会場には一体感が溢れていました。宮沢さんは「温かいお客様の中で演奏できて、とても楽しかったです。来年もまた秋田に寄り道したいと思います」と語っていました。

元気に
100歳

写真右から3番目：佐藤リノさん（平沢）

12月3日、佐藤リノさんが満100歳を迎えられ、長寿祝い金と祝い状が贈呈されました。

ご本人は、しっかりとした足取りで歩けるほど元気な様子でした。

満100歳を迎えられた
佐藤リノさん。
おめでとうございます。

第8回子どもアイデアコンテスト

最終審査進出

「資源を守る!!資源帰る君」

中村 将彦さん（小出小学校6年）

※「未来にあつたらしいな」と思うものを作品

にする小学生向けのコンテスト（主催・本田

技研工業）で、全国から2、460組の応募の中、

28組の最終審査に進出

した。出者に選ばれた。

中村さんは11月

28日の最終審査会

（東京都）でプレゼン

テーションをし

てきました。

